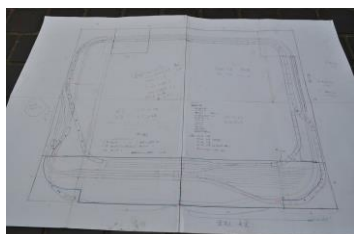


レイアウトができるまで

私たち早稲田大学高等学院鉄道研究部では、4月から約半年間かけてレイアウトを制作しています。レイアウトについては毎年一から製作しており、高校としては最大規模のものです。その年ごとにどんなことをやりたいのか部員ごとで話し合い、それから製作に取り掛かっています。では、レイアウトが完成するまでの光景をお見せしたいと思います。

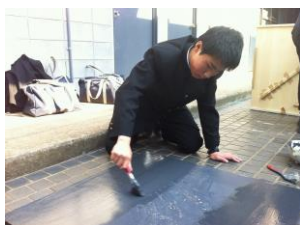
- ・1～3月 今年からは、1～3月の「OFFシーズン」から活動を開始。昨年使用した板からレールやバラストを剥ぎ取り、かなで表面を削って新品同様の板に。特にバラストなどの高価なものは、徹底的に回収し再利用しました。これにより、板購入費を節約しただけでなく、4月以降スムーズに作業を進めることができました。



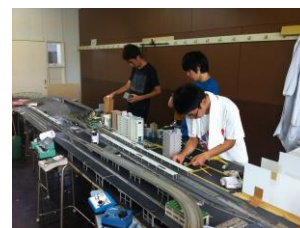
← 今年の図面



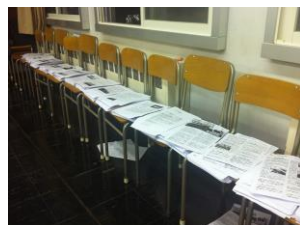
- ・4～6月 新入生9名を迎え、模型作業が本格化。27日には秋葉原にて恒例の買い出しを行い、LED電球やバラストなどを購入。まずは板の塗装・裏打ちを行い、それから線路を一本ずつ丁寧に打ち付けました。模型初心者に対しては経験者が優しく指導するなど、みんなで協力して和気あいあいと作業を進めました。



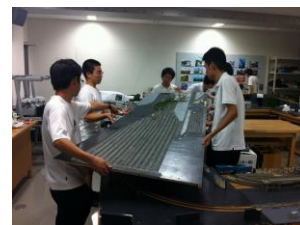
- ・7～8月 夏休み期間は3年K組の教室を貸し切って、朝9時半から16時まで、計19日間活動しました。7月31日に線路が全通し、それ以降は情景制作に力を入れました。山の構図を考えると、車庫の修繕に苦労させられました。エアコンが効いた中、猛暑日でも快適に制作を行えました。



- ・9～10月 特別考査後からは鉄研が修羅場と化し、学院祭まで毎日活動。有志エリアの制作や道路の塗装など、全体的な微調整が行われました。学院祭間際には3年H組を貸し切らせていただき、集中して作業をすることができました。10月からは部誌の製本を開始し、10日、11日の二日間で、レイアウト搬入及び会場の設営を行いました。



← 部誌製本の様子



動画コーナーにて、「2013年度夏合宿」と「レイアウトができるまで」を上映中です。そちらも併せてご覧ください。